

9月9日は重陽の節句

重陽の節句<ちょうようのせっく>とは別名「菊の節句」とも言われています。

古来より、奇数は縁起の良い陽数、偶数は縁起の悪い陰数と考え、その奇数が連なる日をお祝いしたのが五節句の始まりで、めでたい反面悪いことにも転じやすいと考え、お祝いとともに厄祓いもしていました。中でも一番大きな陽数(9)が重なる9月9日を、陽が重なると書いて「重陽の節句」と定め、不老長寿や繁栄を願う行事をしてきました。

菊は古来より薬草としても用いられ、延寿の力があるとされてきました。菊のおかげで少年のまま700年も生きたという「菊慈童(きくじどう)」伝説もあります。また、他の花に比べて花期も長く、日本の国花としても親しまれています。

重陽の節句の楽しみ方…

【菊酒】 本来は菊を漬け込んで作りましたが、お酒に菊の花びらを浮かべてみるだけでも良いでしょう。

【菊合わせ】 菊を持ち寄って優劣を競います。今でいう菊のコンクールです。この時期になると、菊まつりや菊人形展が各地で開催されています。

この節句は長寿を願う節句。9月には敬老の日もあります。元気で長寿な人生の諸先輩の皆様。健康第一で過ごせるようお風呂では、少しだけゆっくりお湯に浸かり手足を伸ばしてみたいかですか？

重陽の節句は五節句の一つ。残りの四つの節句は何かわかりますか？
ヒントは・・・1/7、3/3、5/5、7/7ですよ。答えは下に・・・！！

答え：1/7人日の節句(七草粥) 3/3上巳の節句(桃の節句・雛祭り)、5/5端午の節句、7/7七夕の節句でした。

